

小海高等学校生活指導係発行

未来に向かって我が道を進む

「五体不満足」 著者 乙武洋匡・・・これは10年前に出版され話題になった本です。皆さんも知っているとおり、乙武さんは、先天性四肢切断つまり生まれながらにして手足がない障害を持っている人です。

その本の中で、将来の職業についてこんな記述があります。

「弁護士ってカッコイイ」ーこれは、弁護士という職業への憧れであって、「どんな仕事をしているのか」という部分にはまったく考えが及んでいない。それでは、長続きしないだろう。どんな職業であっても必ず苦難が伴うはずだ。そんな時、「この職業はカッコイイ。なんとなくなりたかった」では、その苦難を乗り越えるどころか、きっと逃げ出してしまうこととなる。

大切なのは、「社会において、何をしたいのか」だと思う。そのことさえしっかりと把握していれば、道は自然に開けてくるはずだ。

(乙武さんは、その後1年間の予備校生活を経て早稲田大学政経学部に進学した。どうやら、彼には障害を個性に変えてしまう力が備わっているようだ)

伸びたいと思う者が伸びられる小海高校であれ

「小海高校で力を伸ばしたい」(生徒)

「小海高校で力を伸ばして欲しい」(保護者)

これらは、新入生及び保護者アンケートの回答です。小海高校がかかげる「進路を保証する学校」に多くの方が期待してくれていることを感じます。進路保証を実現するためには、「学校生活の安心・安全・安定」が不可欠です。

学びたい者が学べる授業になっているか？

- ・先生の指示に素直に従えない
 - ・私語、居眠りの注意等で授業が中断する
- これでは夢が遠のくばかり。小海高校の魅力も半減してしまう。

安心して学校生活を送れるか？

- ・悪口、悪ふざけ、仲間はずしがある(いじめ・暴力)

これでは進路実現どころか、出席すらままならなくなってしまう。

君自身が伸びようとするかどうかは君自身の問題である。しかし、伸びようとする人の妨げとなるのは、君一人の問題ではない。

